

3・11東日本大震災から15年 “命を守るために”事前に備えよう！



2011年3月11日14時46分に発生した「東日本大震災」から15年が経ちました。あらためてお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、被災に見舞われた方々が“いつもの日常”を取り戻すために、私たちが出来る復興のカタチを考え、取り組んでいきます。

これから先、南海トラフ巨大地震、首都直下型地震、富士山噴火等の大規模自然災害が、高い確率で発生すると言われていています。そして発生以降は、ライフラインの寸断や交通網が完全にストップする等の2次災害、3次災害へと発展していきます。場合によっては、政府やお住まいの地方自治体がすぐに機能しないことも想定されます。『水や食料品が手に入らない』『水道、電気、ガスが止まった』『移動手段がない』『電話がつかない』『トイレや風呂が使えない』『暑い(寒い)』『寝るところがない』等々、想定できる問題を上げればキリがありません。個人レベルではどうにもならないこともたくさんあると思います。それゆえ私たちは自然の猛威に対して無力であると言えます。だからこそ“命を守るために”事前に備えていくことがとても重要です。防災・減災に関する情報はさまざま発信されていますし、模擬災害を体験できる施設も全国にあります。震災遺構等では知見や教訓を学ぶことが出来ます。さまざまなツールによる学びを通して「防災力」を高めていけるように、【輸送サービス労組 大宮地本】は今後も企画・運営を行っていきます！